



はまきたで過ごした楽しい時間や思い出のワンシーン

浜松市浜北観光協会会長 松島 芳隆

新型コロナウイルス感染拡大から2年余経過しましたが、終息に至るまでにはまだまだ時間がかかりそうです。しかし、感染対策のガイドラインを遵守し、規模縮小しながらのイベントの開催・地域の祭事・国内旅行も少しずつ緩和され動きが見受けられることは、当観光協会としてもたいへん喜ばしいことです。

昨年は、新規事業として、浜松市・中日新聞東海本社・静岡新聞静岡放送ほか多くのご後援をいただき、また、応募していただいた多くの写真愛好家の皆様、大学・高校生の皆様のご協力により、多くの作品の応募が寄せられましたことに厚くお礼申し上げます。そして、入選された27名の皆様、誠にありがとうございます。

その中でも特に、一般の部『黄金に輝く』吉田峯治様、学生の部『イルミネーションをスマホの中に』井上雄馳様の最優秀作品は自由な発想のもと、新たな浜北の良さを区内外の人にPRするに相応しい作品でした。

本年は1月からでも区内にて撮影された、桜・新緑の名所・観光施設・商業施設・公園・鉄道・花壇・各地域での祭事、そして、来年は、NHK大河ドラマ『どうする家康』が放映されます。家康公と浜北を結ぶ場所の探索や、浜北区沼の地名に絡んだ家康公とのゆかりの地(浜北区沼太田沼乃助で検索)など、是非とも家族や友人と過ごした楽しい時間、思い出など感動したワンシーンを撮っていただき、その作品の募集を行い、観光フォトコンテストとして開催します。

入選作品については、写真展の開催や写真集を制作して、観光施設や公共施設に配布させていただき、新たな浜北の良さを区内外の人達にPRする機会としたいと思います。

ちょっとだけアドバイス

浜北写真組合長 鈴木利幸

昨年に続いての観光フォトコンテストです。違う点は春の写真でも応募可能になりました。例年のミス浜北の撮影会に比べ、期間が長いので、応募点数は倍以上ありました。良い作品も多数見られ、見た事もない浜北などいろいろな角度からの浜北の写真を見て、カメラマンの意欲を感じとる事ができました。

撮影場所が多かったのは、やはり有名な森林公園、岩水寺、不動寺、美園中央公園、遠鉄・天浜沿線等で、最優秀賞も天浜線の宮口駅周辺です。多数の中から選ばれたこの写真、作品名『黄金に輝く』文字通り2台の電車のレールが夕日に輝いて何とも味のある美しい情景の作品です。計算されたわずかな時間にシャッターを切ったのではないかと思います。その他にも工夫を凝らした作品が多数ありました。

今年はコロナが少し下火になり、夏祭りも小規模ながら行う地区もありますし、マスクも距離をとれば、はずしても良いという事ですので、去年より人物を入れた作品が増えると思われます。人物を入れた場合の注意点は、顔にあたる光と表情です。アップの場合は逆光が良いと思います。髪に光が当たって良い雰囲気の写真が撮れます。顔へはストロボの光を調整して表情を見てシャッターを切ります。できたら服装にも気を配りましょう。

日本全国各地でコンテストが行われていますが、上位入賞作品はどの作品も、天候、光、時間、構図、カメラアングル等が計算されています。

カメラマンの方も、自分の決めた撮影場所へ日時を変えて何度も足を運んでみて、思い描いた自信の1枚を！期待しています。



写真例



赤色の通り道



駅前イルミネーション



紅葉の公園



イルミネーション



晩秋の日曜日



揺れるコスモスと遠鉄電車



イルミネーションをスマホの中に



黄金に輝く



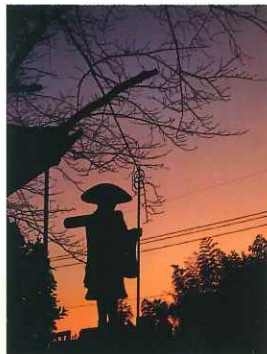
光



思い出の場所



並木路散策



夕暮れの古利



秋色に染まる



輝く新緑



ロード



北浜の大かやの木



名利・不動寺山門



朝焼けの始発



悠久の紅葉



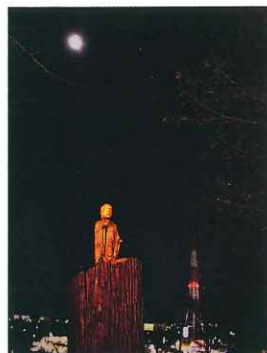
紅葉



秋光る



秋彩



満月の不動寺の立木仏